

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	離散数学第一演習		
英文授業科目名	E x e r c i s e s i n D i s c r e t e M a t h e m a t i c s I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	垂井 淳		
居室	総合研究棟 8 2 4		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@ice.uec.ac.jp	http://www.jtlab.ice.uec.ac.jp/risan.html

【主題および達成目標】
「離散数学第一」の講義内容をより深く理解し、その知識を種々の問題に 応用できるようにすることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
教科書：リブシュッツ著 成嶋弘監訳 「離散数学 -- コンピュータ・サイエンスの ための基礎数学 --」 マグロウヒル演習シリーズ，マグロウヒル社。
参考書：

【授業内容とその進め方】
(a) 授業内容： 内容は「離散数学第一」と同じであるので、そのシラバスを 参照すること。
(b) 授業の進め方：

電気通信大学 平成16年度シラバス

履修者が自分で演習問題を解き，レポートを提出する．
それを模範解答と照らし
合わせて，理解の度合いをチェックし，不十分な個所をより確かなものにする

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法：
成績評価は，レポートの評点，出席状況，「離散数学第一」の成績等に基づいて行う．
- (b) 評価基準：「集合と写像」，「論理」，「数学的帰納法」，「同値関係」，「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする．

【オフィスアワー：授業相談】

最初の授業と上記 web ページで告知予定

【学生へのメッセージ】

「離散数学第一」の講義を理解し，それを自分のものとして応用できるようになるためには，できるだけ多くの演習問題を解くことが望ましい．また，それにより数学に対する興味も深まる．演習の時間を十分に活用し，基礎力の向上につとめて欲しい．

【その他】